令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

	P T A名	静岡県立沼津特別支援学校 愛鷹分校PTA				
学	対 象	□視覚障害	□聴覚障害	☑ 知的障害	□肢体不自由	□病弱
校	設 置 部	□幼稚部	□小学部	□中学部	☑高等部	
	全校児童·生徒数			45人		

1. 使用状况

寄贈物品名	ミシン (コンピューターミシン&ロックミシン)
使用学年及び人数	全学年 21名(作業学習:布工房在籍者)
使用頻度	週4回程度
使用状況	 ・作業学習での使用(布工房) <1年生:毎週火曜日、水曜日…計2回> <2年生:毎週火曜日、金曜日…計2回> <3年生:毎週月曜日、水曜日…計2回>
物品の使用による 変化や効果 ※ 1年目との違いを 含めご記入ください。	布工房では、エコバッグやティッシュケース、ポーチなど、地域や年代のニーズに合わせて、様々な製品を作成しており、地域の事業者や関係の方々に販売をする機会を設けている。寄付を頂いたコンピュータミシンを使用することにより、効率よく製品を制作することができている。また、ロックミシンをいただいた事により、布端の始末の簡略化を図ったり、製品開発ができたりと、生徒たちの充実感につながっている。昨年度、ロックミシンで制作した雑巾やティッシュボックスカバーなどが納品先から高評価を頂いており、ロックミシンを使用しての製品開発に生徒が主体的に取り組むことができている。
今後の活用の 見通しや課題	申込当初の目的は、概ね達成できていると考えている。今後も、生徒が 主体的に製品作りに取り組んだり、新たな製品開発を行ったりし、達成感を 感じることができている。今後は、さらに、色々な縫い方を学び、地域の方々 にアピールできる製品開発をすすめていきたい。
その他 希望や所感など	

2. 活用の様子



コンピューターミシンやロックミシンで制作した製品を、近隣の施設で販売している様子



ロックミシンの使い方に慣れてきて、糸の色や縫い方を工夫して、新製品のティッシュ ボックスカバーを開発しているところ